

福井県民の将来ビジョン 地区別意見交換会まとめ〔福祉・医療〕

地区 テーマ	奥越	若狭	二州（敦賀市、美浜町）	坂井地区および永平寺町	丹南	福井
人づくり		○今は個人の幸福だけを追求して、社会のことを考えない人が多い。個人の幸福のみならず、社会のことを考える人づくりが重要。		○人にランクを付けることは一面的な活力になるが、挫折、落ちこぼれなどが危惧される。若い人が活力を失わず、相対的に幸せになる目標があるとよい。 ○一線を退いた学校の先生のOBによる無料の塾の開設など、高齢者の知力を引出す体制づくりを進めるべき。	○人づくりの根幹は、どう他人に「思いやり」のある人間を育てるかである。家庭、学校で「思いやり」について教育すべき。	○人づくりは青少年に限定することなく、大人、高齢者のスキルアップも大事。 ○データによると特に中学生が地域に支えられ、地域の温かさに育てられたと実感している。福祉教育を推進するべき。
元気なコミュニティづくり	○独居老人が多く、孤独死の問題が生じている。対策を講じて欲しい。	○介護保険は、本人が家族に介護して欲しいとの願望があるにも拘らず第三者の介護でないと給付金が支払われない。家族による介護に対しても給付金を支給するべき。 ○介護サロンに対する補助金支給などにより、介護サロンが県全体に拡大するとよい。	○これからの福祉は、行政がカバーできないところを地域住民の協働で進めることが大事。即ち地域力を活かすべきである。 ○空き家を利用し、高齢者の集いの場をつくれぬか。 ○介護の現場は低賃金で、結婚後家族を養っていけるか不安である。介護労働者の賃金等の待遇を改善して欲しい。	○アンケート（坂井市、あわら市）によると、人生の最期を自宅で迎えたい人が8割を超えている。福井は高齢者施設整備費（人口比）トップクラスであり、恵まれた施設を拠点として在宅介護を推進するとよい。 ○介護現場の働き手として高齢者を活用し、バックアップしていく体制を整えることでお金のかからない在宅介護サービスが可能ではないか。 ○寝たきり老人は一日預かれない介護福祉施設が多いと聞いた。年に何回か預かれる制度があるとよい。	○農業、林業、伝統工芸などは技術やノウハウを世代を越えて継承していく必要があり、「知恵袋」として高齢者を活用するべきである。 ○働く母親にとって、「子どもが病気になった時に誰に看てもらおうのだろう」という状況が必ずある。病児保育制度の整備を推進するべき。 ○高齢化が進んでおり、若い頃に介護に携われるようなシステムづくりが必要。	○高齢化社会に向けては、病気を予防して長患いさせないことが大事。そのためには検診の強化、つまり「かかりつけ医」、「近医」での個別検診の普及が必要。 ○病気の予防のために、各種疾患に有効な予防ワクチン（インフルエンザ、肺炎球菌、子宮頸がん）の公費助成を行うべき。 ○在宅医療において主治医だけでは不可能なので副主治医報酬制度を確立するべき。 ○介護予防の位置づけをしっかりと示し、ビジョンに反映して欲しい。
産業				○観光において、「健康長寿」を売りにした戦略を継続するべき。		